

リビングまつやま

デザイン広告 制作・入稿ガイド

えひめリビング新聞社

2019年6月1日

Content

広告のサイズ、制作環境 P 2
制作時の注意事項 P 3、4
入稿PDFの作成方法 P 5

制作時の注意事項

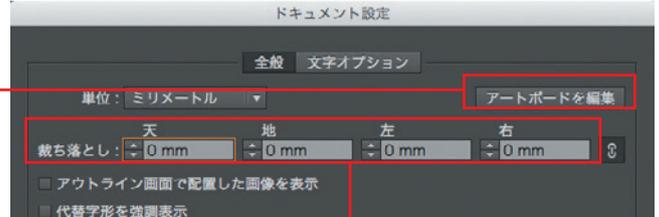
■原稿サイズ、裁ち落とし、カラーモード

- 新規ドキュメント作成時またはドキュメント設定画面にて**原稿サイズをドキュメントサイズとして設定**①
- 裁ち落としを天地左右0mm(紙誌により例外あり)に設定**②**
- カラーモードをCMYKに設定**③**

▼新規ドキュメント作成画面



▼ドキュメント設定画面

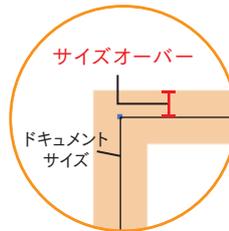


■広告野に関して

広告領域を明確にするために全体を**[広告野]**で囲んで下さい。また、色を全体に敷くことで広告野に代えることも可能です。

※野線の太さはスミ100%の場合**0.1mm以上**、その他の色は**0.2mm以上**としてください

ドキュメントに対し野線で巻く(パスで設定)=拡大図の中心線よりハミ出ている分はサイズオーバーです。必ず線の位置を内側※にするなどして、ドキュメントサイズからハミ出ないように注意してください。



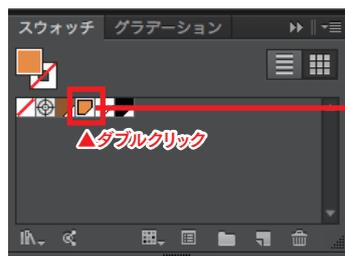
※線の位置を内側



■使用色

CMYK、グレースケールのみ。RGBや特色(スポットカラー)は使用不可です

! 特色(スポットカラー)がある場合はプロセスカラーに変更してください



■ フォント

フォントは全てアウトライン化してください(埋め込み不可)

※フォントデータを含む孤立点などは原稿データに残さないようご注意ください

■ トンボ、塗り足し

「リビングまつやま」の広告原稿は**トンボや塗り足しは不要**です。

■ 使用画像

カラーモードが**CMYKのもの**。掲載の実寸サイズで解像度350dpi推奨です

※解像度が低く画質の悪いものや、必要以上に重たいデータは使用しないようご注意ください

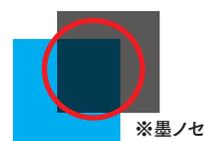
■ オーバープリント

カラー部分の**オーバープリント設定はトラブルの原因になりますので使用しないでください**



墨ベタ(K100%)で作成された部分は印刷では「墨ノセ(ブラックオーバープリント)*」という処理を自動的におこないます。墨ノセは、背面にある色と、前面にあるブラックを重ねて印刷します(透明効果の乗算に似ています)。

背面に色が入る場合はCMYのいずれかを1%足すなどすると、墨ノセを回避できます。



■ 効果メニュー

[効果]メニューの[ドキュメントのラスタライズ設定]の[解像度]は300ppi以上推奨です

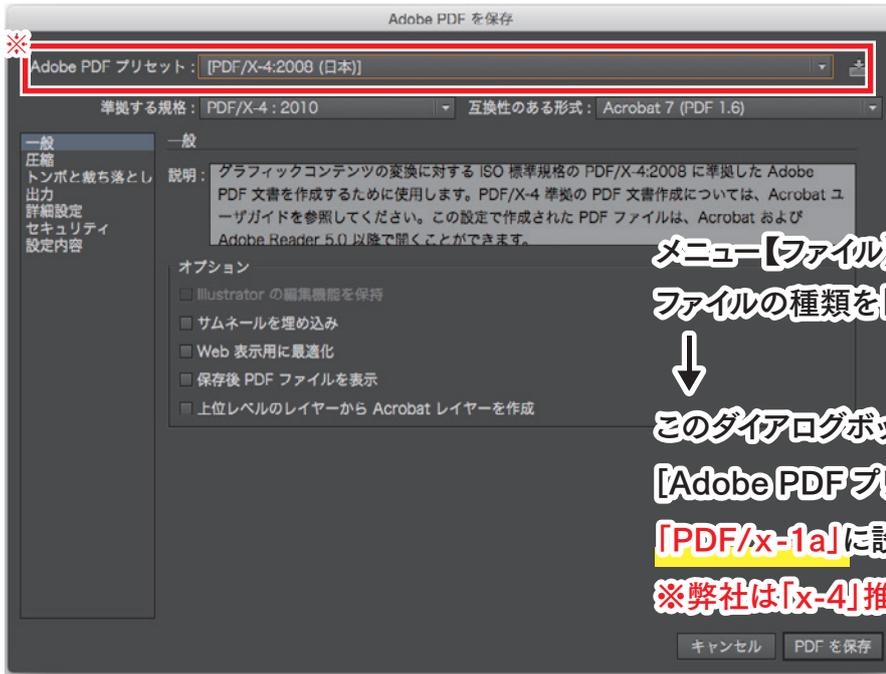


■ その他注意事項

○二次元コード(QRコード)は微妙な版ずれによるトラブルを防ぐため原則K100%で作成してください

○パターンを使用している際は分割・拡張を行っているとお心です

入稿PDFの作成方法



◀ここを変更してください

メニュー【ファイル】→【別名保存】より
ファイルの種類を「PDF」にして保存をクリック



このダイアログボックスが表示されたら
【Adobe PDFプリセット※】を「PDF/x-4」または
「PDF/x-1a」に設定してPDFを保存してください。

※弊社は「x-4」推奨です

PDFチェック方法

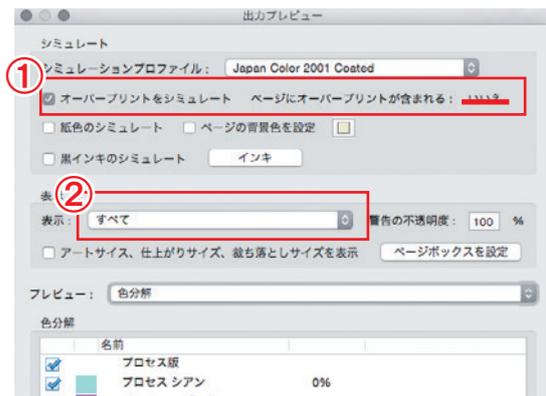
【Adobe Acrobat/Reader】でのPDFチェック手順

作成していただいたPDFが入稿用のものになっているか下記の手順でご確認いただけます

●カラーの確認

[ツール]→[印刷工程]→[出力プレビュー]

- ①「オーバープリントシミュレート」の項目が「いいえ」になっているか
- ②「表示」タブをクリックし特色、RGBにしたときに表示されないか



●プリフライトの確認

[ツール]→[印刷工程]→[プリフライト]

作成したPDFプリセットにあわせて「～への準拠を確認」を選択。（「PDF/x-4」で作成された場合は「PDF/x-4への準拠を確認」を選択）「解析」をクリック。「問題は検出されませんでした」と表示されればOKです。

